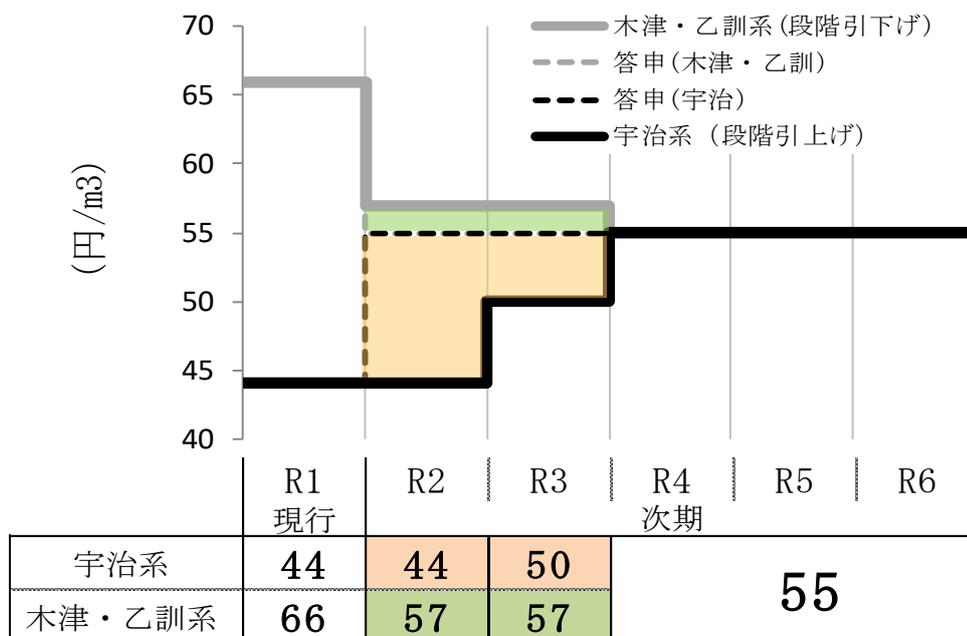
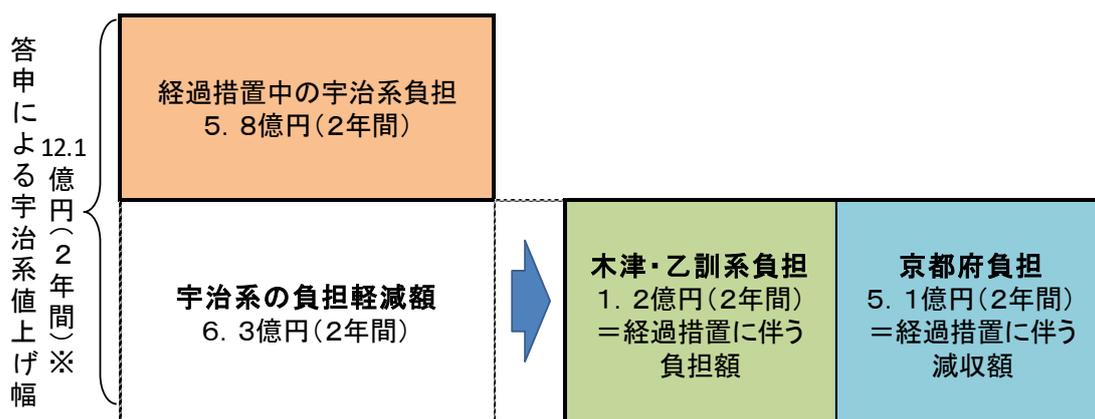


## 次期(令和2年度以降)の府営水道料金改定案について

### 1 建設負担料金 改定案



### 2 負担の考え方



※使用料金を含む。

<使用料金>

○引上げ要因

- ・経費の増加（委託料、動力費など）
- ・使用水量の減少
- ・修繕引当金の減少（現行料金は引当金を活用し、本来単価より▲7円）

○受水市町の受水費に占める割合は約2割

（単位：円/m<sup>3</sup>）

年度	R 1	R 2～
3水系共通	20	28

<超過料金>

○1日あたりの受水量が建設負担水量を超えた場合に徴収

※ 通常、発生することはない

○超過料金の算定式は、 $\frac{\text{料金算定期間内の固定費}}{\text{料金算定期間内の供給水量}} \times 2$

（単位：円/m<sup>3</sup>）

年度	R 1	R 2～
宇治系	164	202
木津・乙訓系	219	